

## パブリックコメントによる意見募集の結果を公表します 安城市一般廃棄物処理基本計画（案）

広報あんじょう平成25年2月1日号及び市公式ウェブサイトなどでご意見を募集した「安城市一般廃棄物処理基本計画（案）」について、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見に対して、市の考え方をまとめましたので、その結果を公表します。

### 【 提出された意見及び結果 】

提出数 1人（1件）

#### 意見の内容

該当箇所
第4章 減量化・資源化計画（4Rの推進） 1 リフューズ、リデュース、リユース ⑤ 収集ごみの有料化（45ページ）
意見・提言の内容
計画案の「収集ごみの有料化を検討します。」に対する意見 市民アンケートQ24、Q25の結果からもすでに検討段階から実施段階にきているように考える。 ゴミ処理コストを意識するよう段階的方法でもかまわないから、有料化を早期に実施すべきである。 可燃ゴミの処理経費が400円／(35L・一袋)かかっている実態を市民に周知し、その経費が税金という形で市民が負担していることを広報すべきであり、受益者負担の原則を大胆に導入すべきである。 分別しない人のために私の収めた税金が余分に使われるのはいやである。
市の考え方
ゴミ処理手数料の有料化は、ゴミ減量に対してとても重要で有効な施策と認識しております。また、受益者負担の観点からも必要な施策であると考えております。しかし、リーマンショック以降、景気も本格回復とは言えず、市民生活も依然厳しい状況にあることを考えると、さらなる10%減量のためにすぐにごみ処理手数料を有料化

することは難しいと考えております。

有料化につきましては、ごみ減量の達成状況や有料化の実施による不法投棄や他市への廃棄などの増加も懸念されますので、近隣自治体の動き、景気の動向を注意深く見守り総合的に判断していきます。

ごみ処理の実態等につきましては、市民に周知することは大変重要でありますので、計画書の「2 ごみ減量意識の高揚 ①啓発活動の充実」に示すよう情報提供をすることで減量意識の高揚を図っていく計画としております。

### 計 画 へ の 反 映

上記の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。